



月刊 日八十月八年八

戦地の便り

海南島に居ます 郷土勇士皆元氣

(前略) 暑中見舞、御敬謝文 戴き有難く厚く、御禮申 上げます、皆々様には銃後 益々御多忙なるに拘はせら れず非常時下の休強本意各 種團体の統制等々市の發展 に献身的の御盡力の御事深 く御禮申上候、私等郷土の 將兵は皆様の御努めに劣ら ぬやう一意専心萬難を排し て前進いたして居ります、 今年の徴兵検査は重大時局 下に好ましく好成績にてこ れありたる由以上なき喜び であります、内地も此の難 局に何事も滞りなくまた農 産業その他多なる收獲を得 たる趣き嬉しき限りであり ます、時局多端の折柄皆々 様には一層御健康に御留 意遊ばれる様御願ひ申上げ ます、至極元氣な私達は海 南島の一角にあり日夜奮闘 致し居りますれば何卒御安 心下さい、島内の治安も日 を追ふて恢復いたし残敵掃 滅も日時の問題となりまし た、されど奥地大五指山深 く逃げ込める兵匪土賊は最 後の「あがき」に五月蠅く出 没いたし少しの油断も許さ れず皇軍の猛攻撃に一同た まりもなく敗走し居る現 況でございます、先日私等 の部隊は敵地深く進み〇〇

平市紺屋町出身 松田一

市内縣道警備橋の架換え工事 及び名刺赤井嶽參詣の縣道川 中子赤井停車場線並びに國道 六號線を見て平濁、明二十九 日は小名濱港から植田町の外 石城郡南の土木關係を視察の 後湯本町泊、三十日須賀川方 面の視察に向ふ豫定である

昨日の四倉市場 平均六十八圓

愈よ出廻り盛期 四倉市場第四日の去る二十 六日は出廻り五百三十五貫で (六四口)で最高七四六〇圓 最低七二四〇圓、平均七三 四八八圓の取引であつた次へ て第五日即昨日は愈よ 出廻り盛期を迎ひて出廻一千 六百二十六貫九百九、當日の 相場は左記の如くで總額一萬 二千九百圓に達した

▲最高六二圓 最低七三圓 七〇圓 平均六八圓

關内氏視察演説 各所共に盛會

廿一日から四ヶ所 關内縣議の滿支産業視察と皇 軍慰問の報告演説會は二十五 日午後七時から平市古銀治町 天理教會で聽衆二百余名、二 十六日は午後七時から同市舊 城址青年團自治會館で聽衆七 十余名何れも満堂に異常な感 奮を興へた向同氏の報告演 説は来る三十一日から引續い て市内四ヶ所に於て開催され ることになつてゐる

復舊費全額 稻荷社焼失に

鐵道側の負擔 平驛橋内に隣る舊平城址の丘 上に祀られる物見岡稻荷神社 は本年四月機關車の飛火か らと云はれる丘下枯草の野火 から遂に烏有に歸し同社氏子 關係より賠償金を請求された に對し鐵道側では千五百圓の 包み金で解決すべく該金を差 出したが地方名社の本殿から 社務所までを焼失したる賠償 としては余りに軽く拒絶され てゐたところ最近に至り東鐵 庶務賠償係來平、氏子總代と 折衝の結果、復舊費少くとも 五、六千圓を要する其の全額 を負擔することになつて圓滿 に解決した

即日歸郷の献金

平市鷹匠町新田寅二さんは此 後三十日午前九時から同窓會 華を供へ誠志勇武なる故陸 軍歩兵中尉從七位勳六等功 五級金成龜太郎君外廿四君 の英靈に白す、

今次暴支膠懲の師起るや我 が忠勇無比なる皇軍は大命 を奉じて勇躍征途に上り聖 戰茲に三星霜陸海に將た空 に緊密なる聯繫を保ち歩武 堂々として支那大陸を席捲 すると共に制海の霸權を握 り此の間克く酷寒を忍び 炎熱に耐へ險山を攀ち曠野 に伏し極風雨具に辛酸を 嘗め勇猛果敢彈丸雨飛の下

奉公會へ寄附 五十圓寄附

吉村ガラス店 平市南町吉村ガラス店主實弟 吉田豐君は入營旗を節約して

唯一死戰國の丹心鐵石の如 く直往邁進朝に堅壘を築り 夕に堅壘をくじき連戰連勝 威武を中外に宣揚し長期抗 日を豪語せる蔣政權をして 一日を露語せる蔣政權をして かに其の余喘を保つに過ぎ ざりしむ、而して郷黨皆 仰指かざる所なりしが不幸 にして敵艦に被れ或は碎厲 に胃され空しく恨を容んで 興亞聖業の華と散る痛惜哀 悼の情に禁へず、然れども 諸士は國家の干城として一 身を君國に捧げて國難に殉

小學兒童の赤誠

石城郡赤井村第一小學校十一 區通學團第二班の一同は各自 小遣金を節約して持寄つた二 四三十圓を國防費として献金

暑中不歸省で 盲生の献金

國防へ八十四圓 平市警備訓練院では全生暑休 の不歸省で鐵炎按摩の料金を 來院者に限り割引をなし得た る收入八十八圓の國防献金を市 役所に寄託した

成田道路課長 濱通り初巡視

縣土木部道路課長成田謙治氏 は昨二十七日から濱通り初巡 視をなし原町土木監督所管内 視察の後同地泊、今二十八日 富岡土木より平土木へ移り平

入山健保で 保養所建設

三萬圓で農村に 石城郡湯本町の入山採炭健保 組合では同礦一般従業員の保 養所に工費三萬圓を投じ郡内 泉村下小川海岸に風光明媚の 位置を撰び建設中であつたが この程落着いた同建築は建坪

陣歿勇士の 追悼法會

市長の追悼文 平市に於ける今次事變陣歿勇 士廿五柱の舊盆追悼法會は廿 六日午後一時市公會堂に於て 執行、郷軍聯合、青年團、各 種婦人團、市會議員その他千 余名の參列で壯嚴なる式を舉 げたが同會に於ける青沼市長 の追悼文記の如くである

維時昭和十四年八月廿六日 統帥奉公會長平市長從五位 勳四等青沼錦太郎恭しく香

磐崎校の同窓會

石城郡磐崎村の尋常校では明 後三十日午前九時から同窓會

即日歸郷の献金

平市鷹匠町新田寅二さんは此 後三十日午前九時から同窓會

奉公會へ寄附 五十圓寄附

吉村ガラス店 平市南町吉村ガラス店主實弟 吉田豐君は入營旗を節約して

新興ダイヤペン付 ウエル萬年筆

一、五〇以上 商工省主催「代用品 工業振興展覽會」出 品申込の各種代用品 一萬数千點中萬年筆 としてはウエルペン 一點嚴重なる鑑定に 合格したる新興國策 製品

代理店 魁文堂 電話三三三

高島屋洋行

政治は獨り不可條約締結 を廻りて俄然緊迫せる情勢 を現はし時局は益々重大性を 加ふるに至れりと雖も餘後 國民は愈々國一致堅忍持久 の精神を堅持し露忠報國の 誠を捧げ以て前古未嘗有の 國難を打開し諸士が築ける 聖業の達成に邁進せざるば 止まざるべし、希くは在天 の英靈長へに照鑑を垂れ給 はんことを茲に恭しく敬希 の意を表す



綿用菌の 養蚕飼育

茨城蠶試が虐待育
の試験に成功

茨城縣蠶試場にては綿用菌の強壯な虫質に目を付けて養蚕の桑葉を利用する虐待飼育の試験をなしたところが普通飼育の桑葉でもつて飼育したるものと大して差のないことが認められ、飼料の不足を懸念されてある國策新用途菌の飼育に大きな福音がもたらされた、即ち壯盛期に於て徹底的な經濟飼育を行ふ關係上稚盛期にあつては比較的丁寧に取扱ふ必要があり、一日一回育または一輪一回育が適當である。

試験の成績は良桑飼育によるもの、飼育歩合一五%に對し蠶室養蚕は一四・五%、泥桑一四・二%、蠶沙一三%であるから幾分の遜色を示したのではあるが減歩歩合に於ては殆んど變つてゐない好成績である、なほ蠶沙を用ひるにしても良桑と混じて用ひ清水をしめして育れば飼育歩合は蠶室養蚕と同しく一四・五%の成績を挙げ得る、此の實驗によつて見れば所謂虐待育は他の飼育に比較して氣遣はれる飼料(桑)の不足が相當に救補されるばかりでなく手數に於ても短縮されてしかも國策上の新しい用途をもつ綿用菌の生産に貢獻なし得る徹底的な經濟飼育であつて養蚕業者もまた普通育より利益である

(終り)



肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

一般印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

生公業

山形県山形市五丁目角
山形市五丁目角
山形市五丁目角

主治
肺病、結核、貧血、衰弱、神経痛、腰痛、頭痛、手足の麻痺、婦人科、小児科、皮膚科、泌尿器科、物理療法科

山形市五丁目角
山形市五丁目角

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
入院應需(自炊の便あり)
電話六六九番

涼味そゝる

夏物洋品愈々進出

スマートなカンカン帽子
可愛らしいお子様帽子
婦人・子供清涼着
その他色々陳列

つるや 平 四
電 140

債券、公債
両替、金融
多田井質店
平市大町 電話五九一番

根本 婦人科醫院

根本 莊次郎
根本 貞雄
電話三四番

帝國 海上 保險株式會社

安田系統の帝國海上
火災、海上、代理店、關内、正一
事務取扱者 阿部 助次郎
平市三丁目 電話一六番

カバと洋品類

眞砂屋 (前驛、市平) 新道通
電話五六五

中野齒科醫院

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、機械工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科

院長 日本齒科醫學士 中野 慈次
日本醫學士 鹽谷 伍郎
主任 佐藤 重義

平病院

院長 醫學博士 鈴木 定藏
副院長 鈴木 定藏
副院長 高橋 俊幸
副院長 土井 利明
副院長 鈴木 定藏
副院長 鈴木 定藏

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限りならず)

日下家政婦會

便利で經濟な日下家政婦會の
派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
何ぞお任せしても安心です

平市白銀町十番地 (電話七三三番)

日下家政婦會

會員同志の御加入(派出なき限りに裁縫や)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

會長 日下 すい子